

# = 普及情報 =

No. 6

平成29年5月23日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標題	一致団結 単価1,300円/kg ! やればできるぞ反収1,300kg ! ~平成29年産 JAしまね出雲ぶどう出荷総会~
----	--

(ダイジェスト)

5月10日に平成29年産ぶどう出荷総会が開催され、表題に掲げるフレーズを目標に、生産者・市場・関係機関が一丸となって取り組んでいくこととなりました。

会の最後には、全員起立し、目標達成に向けて頑張ろう！との号令で締めくくられました。

JAしまね出雲ぶどう部会は、今年産の目標として単価1,300円/kg、反収1,300kgを掲げています。

特に単価は、昨年度1,200円/kgを超え、目標の1,300円/kgまでもう一息というところまで来ており、例年以上に生産者からの強い思いの伝わる総会となりました。

① 冒頭、園山部会長からは、

- ・収量の低い樹があれば、改植事業により収量向上へ！
  - ・GAPの取り組みにより異物混入を防ごう！
- と部会員に呼びかけられました。

② 各市場からは目標達成のために

- ・赤秀比率90%以上
  - ・L規格中心の房づくり（L4割、LL3割）
  - ・大粒で食味の良いゆる房（ステップアップ規格）づくり
- が要望されました。

これらへの取り組みを行いながら、5～6月の出荷ピークへ向かうこととなっています。

③ 生産者を代表して、女性部の新規就農者である桑本氏を先頭に、

- ・育児と農業の両立
- ・ステップアップ規格の生産
- ・安全・安心のための農薬使用を遵守
- ・正確な産地情報の発信
- ・儲けてみせることで、後継者を育成。

続いてきたぶどう産地を守る

と発声され、「頑張ろう」の号令のもと、目標が出席者約300人と共有されました。



<頑張ろうと、発声>

農業普及部としましては、栽培講習会等を通じた秀品率向上はもとより、部会組織への産地ビジョンづくりの働き掛けとそのビジョンの確実な実行による産地再生化に向け、関係機関と密に連携を図り、組織的、計画的に支援を行っていくことにしています。